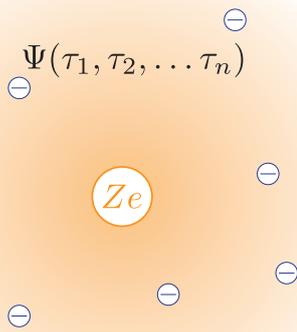
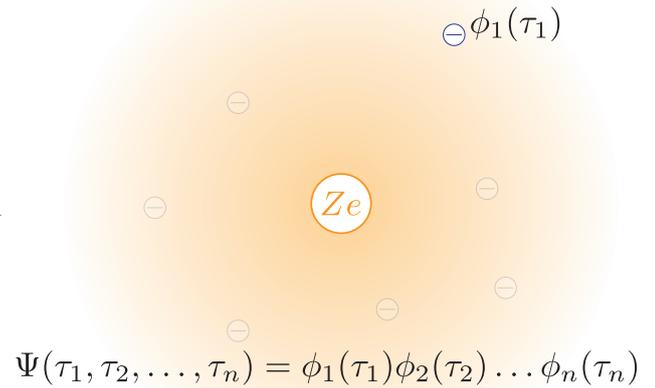


1 Hartreeの方法

(a)



(b)



$$\left[\sum_{i=1}^n \hat{H}_c(i) + \sum_{i>j} \frac{e^2}{4\pi\epsilon_0 r_{ij}} \right] \Psi(\tau_1, \tau_2, \dots, \tau_n) = E \Psi(\tau_1, \tau_2, \dots, \tau_n)$$

$$\hat{H}_c(i) = -\frac{\hbar^2}{2m_e} \Delta_i - \frac{Ze^2}{4\pi\epsilon_0 r_i}$$

変分法を適用
(導出略)

Hartreeの方程式

$$\left[\hat{H}_c(i) + \sum_{j(\neq i)} \int \frac{e^2 |\phi_j(\mathbf{r}_j)|^2}{4\pi\epsilon_0 r_{ij}} dv_j \right] \phi_i(\mathbf{r}_i) = E_i \phi_i(\mathbf{r}_i)$$

$i = 1, 2, \dots, n$

他の電子はポテンシャルを作る背景としてハミルトニアンに含める

答 () が分からないと
問題 ()
が決まらない。

適当な試行関数の組 $\phi_1^{(0)}, \phi_2^{(0)}, \dots, \phi_n^{(0)}$ を仮定

\hat{H} を計算

$\phi_1^{(1)}, \phi_2^{(1)}, \dots, \phi_n^{(1)}$ を試行関数とする

方程式を解いて $\phi_1^{(1)}, \phi_2^{(1)}, \dots, \phi_n^{(1)}$ を得る

一致しなければ

$\phi_1^{(1)}, \phi_2^{(1)}, \dots, \phi_n^{(1)}$ を $\phi_1^{(0)}, \phi_2^{(0)}, \dots, \phi_n^{(0)}$ と比較

$\phi_1^{(i-1)}, \phi_2^{(i-1)}, \dots, \phi_n^{(i-1)}$ と $\phi_1^{(i)}, \phi_2^{(i)}, \dots, \phi_n^{(i)}$ が一致したら終了

の方法 (SCF法)